

会社は災害時であっても現場社員の安全と労働条件を優先した指示を行うこと！

名古屋地本は11月14日、「申7号」で9月の台風12号、15号により鉄道施設に大きな被害が発生、また多くの社員が業務、出勤、帰宅等に支障と混乱が発生したことに対する業務委員会を開催し、会社の対応と今後の考え方について以下の内容で業務委員会を行った。

「申」の内容と会社回答

1. 台風12号及び台風15号による社員並びに鉄道施設被害状況を明らかにすること。
回答：高蔵寺駅事務室の浸水、出札の窓口用入出金機の浸水、土岐市駅の踏切が冠水
車両関係では熊野市駅に留置していた車両2両が浸水。
工務関係では12号で熊野市駅近くの井戸川橋梁で線路と橋台裏の路盤、道床が16カ所で流失。15号では高蔵寺駅構内の冠水、土砂の流失と道床が流失、検知線の切断があった。
2. 会社のホームページに各線運行状況に「〇〇駅～〇〇駅間で設備の点検を行っているため、運転を見合わせています」とアップされているが、どこが悪くて、何の点検を行っているのかなど、見合わせの理由を詳しくアップすること。
回答：その都度、適切な情報提供を行っている。
3. 土岐市駅では翌日に救済バスを運行したが、特急の旅客のみの救済だったために、多くの苦情を受けた。現場で判断、対応ができるようにすること。
回答：その様な考えはない。
4. 管理者の指示で駅及び職場で待機した社員の待機時間は勤務扱いとすること。
回答：状況に応じて適切に取り扱っている。
5. 乗務員運用に偏りがでる。明けの乗務員など安全に支障をきたさない公平な乗務員運用をすること。
回答：適宜、適切な乗務員運用を行っている。
6. 勤務終了後に帰宅できない社員に対しどのような処置を行ったのか。帰宅出来ない社員に対しては宿の手配を会社が行うこと。
回答：適宜、適切に対応する。
7. 9月20日の名古屋駅、枇杷島駅間の庄川橋梁の安全確認はどの様に行ったのか。
回答：社員により目視確認により安全確認を実施した。

8. 被害状況を知るためにヘリコプターで調査を行ったか明らかにすること。

回答：12号では紀勢線、15号では飯田線で被害状況を把握するために調査を実施した。

9. 帰宅出来ない社員が自費でホテルに泊まり次の日、出勤した社員がいるとのこと、宿泊した社員の宿泊費を出すこと。

回答：適宜、適切に対応する。

10. 名古屋工場では帰宅できない社員の為に、現場は点呼室を開放したが、長椅子もなく横になることも出来ない状態で夜を明かし、次の日は仕事についた。宿泊出来るように手配すること。

回答：適宜、適切に対応する。

11. 乗務員が臨時徐行の指示を受けたがトンネル内のキロ程が汚れて見えなかったので見えるようにすること。

回答：具体的な場所が分からないので後の議論の中で行う。

12. 30Dでは信号所に列車を止め旅客を降ろしたが、何故降ろしたのか。列車を止める場合はホームのある箇所ですること。

回答：適宜、適切に対応した。

13. 列車ダイヤが大幅に乱れたときは乗務員の運用を自区、他区関係なく運用すること。

回答：適宜、適切に対応する。

14. 台風が接近している時は、計画的に早めに運休を行うこと。

回答：その都度適切な判断をしている。

主な議論

組合：今回の被害状況を詳しく文書で説明すべきである。

会社：出すことは考えていない。説明をしています。

組合：今後は事故等の被害状況は文書で出すこと。

会社のホームページに運行状況を載せているが駅ではお客さんから詳しい事が分からないと苦情を言われる詳しい内容をアップすること。

会社：苦情があったら指令に報告して下さい。どの様な苦情があったんですか

組合：苦情は色々ある。申に書かれた事柄だけではない。

会社：ここで書かれている以外、具体的に何があったのか。

組合：駅では列車が遅れたり、停まったりするとお客さんから色々な事を言われ、聞かれて大変である。おおまかな事柄だけではなく詳細な情報をリアルタイムで載せること。

今回の台風では人的な被害が無かった。このことは、この間の労使で安全議論の積み上げた結果であると考えます。高蔵寺駅では水が入って被害を受けたが今後、水などが入らないように対策を考えたのか。

会社：土のう等、浸水させない対策を考えている。

組合：災害であるから、何が何でもこうでなくてはならないとは言わないが各現場では

家に帰れない社員の為に寝る所を確保する。食料品を買うとが求められる。
また出勤では通勤駅で待機指示された社員もいるが自宅待機でも良いのではない
か。

会社：運行状況にもよりますが、何時でも出てこれる様にと言うことで。

組合：待機となると何らかの責任がかかることになる。指示をしているのだから勤務扱
いにするべきである。

会社：勤務ではないのでやむを得ない。

組合：今回の場合、長い人は駅で8時間位も待機させられた社員もいる。

会社：何時、動き出すか分かりませんのでやむを得ない事である。

組合：待機している場所もない状況もある。

会社：管理者と個別に話しをしてもらえれば良いのではないか。

組合：現場の管理者では判断出来ないから会社が指示を出すべきである。
庄内川橋梁の安全確認を目視で行ったがこれは正しい扱いなのか。

会社：目視で安全を確認することもある。

組合：目視と列車を走らせて安全確認することが必要ではなかったのか。
今回の災害ではヘリコプターを活用したのか。

会社：有効であると考えた。

組合：ヘリコプターで全てが把握できるのか。

会社：人による確認も行っている。

組合：今回の災害で帰宅できず、職場で2泊もした社員がいたが宿泊手配をしたのか。

会社：会社施設などを調査し職場で宿泊をしてもらった。

組合：名古屋工場では帰宅できない社員が実費で宿泊したとも聞いている。会社は面倒
を見ないのか。

会社：災害時は他の企業も同じ事を考えるので確保することは大変である。

組合：そうかもしれないが確保することも考えていくことが必要なのではないか。

会社：トンネル内のキロ程が分かりにくい。どこの事ですか。

組合：一カ所の問題ではない。全体的に汚れて見にくいし、臨時徐行の指示はキロポ
ストを言うのではなく目印になる名称も活用して分かりやすく工夫をして欲しいと
いうことです。

30D、駅ではなく信号所でお客さんを下車させることは異常時であっても危
険な行為ではないのか。

会社：20時間停まっていて、判断した結果である。

組合：安全第一に考えホームのある箇所まで移動し、下車させるべきである。

列車が途中で止められ何時間も遅れて休憩、食事も取れない場合は自区、他区を
問わず乗務員を交代させるべきである。安全上問題である。

会社：その様な考えでやっちはいますが一概にその方法が良いとは言えない。無理して
も行ってもらった方が良い場合もある。

組合：今回の事を教訓に次回のときに活かす考えも必要ではないか。

災害時の扱いについては、様々な事が想定されるが安全を第一考えることは、労
使で必要な事である。今後も機会あることに組合側から議論を求めていく。

以上